

ニホンザルの検疫研修および沖縄における野外実習施設・自然の見学

(平成 25 年 12 月 11 日~15 日) 報告書

人類進化モデル研究センター 技術職員 石上暁代

参加者 岡本宗裕教授 鈴木紗織(D1) 江島俊(M2)

兼子明久 夏目尊好 石上暁代(技術職員)

沖縄こどもの国動物園においてニホンザルの検疫研修(写真 1)

- ツベルクリン反応検査
- 検便(サルモネラ検査、赤痢検査、エルシニア検査、大腸アメーバ検査)
- 採血(B ウイルス検査、SRV-4 検査)
- レントゲン撮影
- マイクロチップ挿入
- 顔面への刺青の施術寄生虫駆虫薬投与

ニホンザルは個別ケージに入れられており、アダルト♂は目が合うと威嚇をしてきました。それ以外の個体は騒ぐこともなく、落ち着いていました。個別ケージから挟体ケージへの移動もサル自らスムーズに進むことができ、賢いサルだと感じました。駆虫後の便には腸結節虫と思われる寄生虫の成体が確認され、勉強になりました。

写真 1



写真 2



琉球大学 西田研究室訪問(写真 2)

琉球大学の敷地内にはガジュマルなど亜熱帯植物が植栽されていました。琉球大学理事・副学長の西田 睦先生と面会し、西田先生の研究や琉球大学についての説明を受けました。西田先生によって亜種として報告された沖縄と奄美大島固有のリウキュウアユが、急速な開発により絶滅したと伺いました。沖縄にとって観光産業が重要であることも理解できるのですが、絶滅の事実を広く伝え、自然環境への配慮を呼び掛けていきたいと思いました。

写真 3



琉球大学 瀬底研究施設訪問 酒井一彦教授と面会(写真 3)

瀬底研究施設は海岸沿いという立地を生かし、直接引き込まれた新鮮な海水を利用した海洋生物飼育研究施設でした。特に夏季には世界中から研究者が集まりにぎわうそうです。サンゴの産卵をぜひ見てみたいと思いました。

写真 5

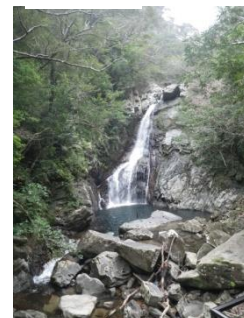


写真 4



やんばるの森探索(国頭村比地大滝トレッキング)(写真 4, 5)

比地大滝は国頭村にあり、約 26m の落差をもつ沖縄本島最大の滝です。入口から滝までは約 1.5km あり、60 分程度の亜熱帯ジャングルトレッキングができました。巨大なシダ植物ヒカゲヘゴ、シリケンイモリ、オキナワオオサワガニなどに出会えました。次回は暖かい季節に再訪し、昆虫観察をしたいと思いました。